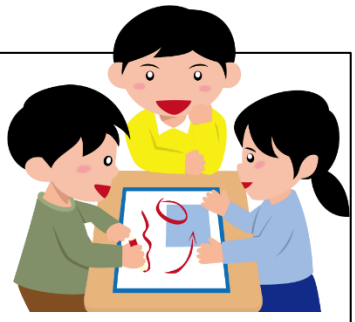
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ１３

6月 今日の一言



４．６．２３　校長　渕上　卓也

同じクラスでよかった！！

みんなと過ごした日々

ぼくは，五年生の三学期から六年生の夏休みまで入院をしていました。入院していたので，みんなと過ごした日々は少ないです。それに，運動会や小体会の時に参加さえできませんでした。

でも，退院してからは，修学旅行やいろいろな行事に参加できたり，定期治療で遅れた勉強を教えてもらったり，図工を手伝ってもらったりして，こんなにうれしい事はありません。

ぼくは，このクラスのみんなと同じクラスでよかったと思います。

みんな今までありがとうございました。中学生になって遅れているところがあったら自分で努力して，みんなに追いつきたいと思います。

卒業してみんなと別れても，ぜったいにこの六年四組のみんなと先生の名前と顔を忘れません。

みなさん本当に今までお世話になりました。ありがとうございました。

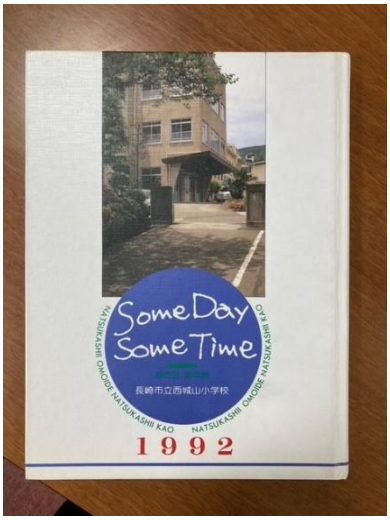
長崎市立西城山小学校第三十三回卒業生

卒業文集より

「滑石っ子の心を見つめる教育週間」には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございます。学習の様子から、その心の中に触れることができたでしょうか。子どもの心は、出会いの数だけ思いや願いを受け止め、磨かれていくものです。学校教育の場に限らず、地域社会の中でも声を掛け、接していただけたらと思います。

さて、上記の作文は、私が教育週間のスタートにあたり、全校朝会で子どもたちに紹介したものです。３０年ほど前に、初めて小学６年卒業担任をした時の卒業文集から引用しました。

「ぼくは、このクラスのみんなと同じクラスでよかったと思います。」今でもこの言葉は私の目標であり、こういう思いを持たせて学校から送り出すことが、教師としての一番の責任であると思っています。



＜今日の一句＞

いつまでも
大事にしたい
この言葉　卓也